



西台中だより

2026
1月

板橋区立西台中学校
2026.1.30発行
校長 内田 善人

12月25日(木)終業式 校長講話『一年の計～温故○○』

今年の抱負を漢字一文字で

12月の終業式では、昨年度に続き皆さんにFormsで以下のような質問をしました。

「来年の抱負を漢字一文字で表すと何になりますか。その理由も含めて教えてください。」

得票数の多かった順は以下のとおりです。

第一位 努

「いよいよ1ヶ月後に都立推薦があるので、練習を怠らないようにするため。それと、高校でも同じように努力を続けられるようにするため。」9年生

第二位 勉

「2年生の3学期は3年生の0学期というほどだから自分が受験生だということを自覚して受験に向けて勉強しないと、と思ったから。」8年生

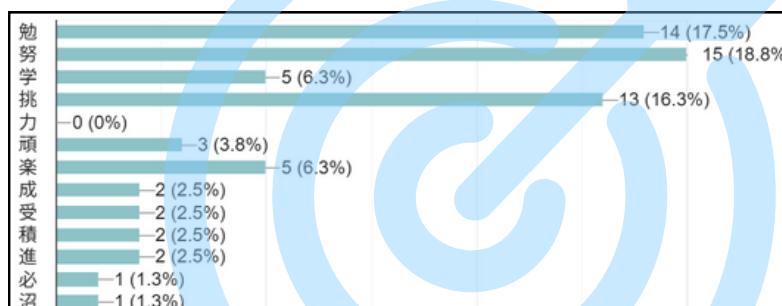
第三位 挑

「中学生初めての後輩や学年あがるので色々なことに“挑戦”していきたいと思いました。」7年生

第四位

学「2025年よりも多くのことを学んで将来に活かしていきたいから。」7年生

楽「絶対に志望校に受かって、高校ライフを満喫したいから。」9年生



↑ 西台中生の「今年の漢字」（令和8年の抱負）

※勉、努、学、挑、力、頑、楽、は昨年のトップ5
沼、以下は得票数一票の漢字が並んでいます



清水寺で発表された今年の漢字は「熊」（全国各地で熊の被害が相次ぎ、市街地にまで出没するなど、生活や経済活動にも深刻な影響を及ぼしたことなどから）。続いて「米」「高」と、令和7年の世相をよく表しています。対して西台中生が選んだ「令和8年の抱負 漢字一文字」は今年も向上心と未来への希望にあふれています。

9年生は進路決定に向けての意気込みが多く、8年生は最高学年、進路決定のスタートラインへの心構えが同えます。7年生は中心学年として後輩を迎える期待が多かったです。

私は今年の漢字に「選」を選びました。“Make your choice!” 自ら選択し、主体的に学び、成長できる学校を目指します。昨年度の「共」共生社会の実現とともに、次年度の学校経営重点目標として掲げます。

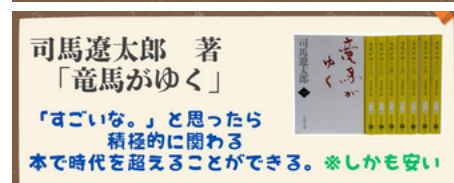
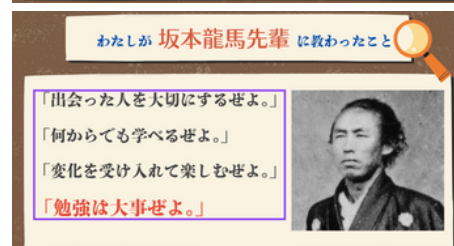
さて、終業式にはこの他に「歴史上の人物で誰が一番好き？」というアンケートもとりました。西台中生の得票数第一位は織田信長。生徒コメントをご覧ください。

第一位 織田信長 ●天下統一を目指していて強い気持ちなところ。織田信長のドラマや映画が多くて面白いから。【8年】●歴史上で最初に思い浮かんでくる偉人だしその生き方も印象に残ったから。【7年】

第二位 坂本龍馬 ●着物とブーツの組み合わせがかっこいい！でもビジュアルだけでなく、出世や名誉よりもこの国が良くなることを優先したり身分にとらわれず行動したところが男前！【8年】

第二位 レオナルド・ダ・ヴィンチ ●解剖学、工学、建築、植物学など様々な分野において研究や発明をした人だから、すごいと思った。【8年】

私は司馬遼太郎さんの「竜馬がゆく」を読んで、幕末を生きた人々の生き様に興味をもちました。先人たちが築いてくれた歴史の上に、自分もいること。そしてその祖国（縁）を大切にする気持ちや、広い視野をもつこと、そのために学ぶことの大切さなど、今の自分が大事に考えていることの礎になっています。地球の大先輩に思いをはせ、新しきを知りましょう。



↑ 終業式のプレゼンテーションから

失って初めてその価値に気づくこと

年末に転倒して鎖骨を脱臼してしまいました。正確に言うところ「右肩鎖関節脱臼」だそうです。利き腕である右肩が動かせないことは生活全般に大きく影響し、今更ながら五体が不自由なく動くということの価値の大きさを痛感するのです。共生社会の実現には共感力が大切と、頭では理解していたつもりですが、実際に不自由な生活をしてみてこそ見えることは多く、むしろ良い機会と思って過ごすことにしています。例えば腕を吊った状態で電車に乗っていると席を譲られることが何度かあり、そんなときは心が温まります。今まで気づけなかった人の優しさに触れ、嬉しいことも多いのです。

プレゼンテーションから「健康は全てではないが健康を失うと全てを失う」

されど不自由な生活の中でこそ
見えることもある

身体への感謝

"Health is not valued till sickness comes."



外れた鎖骨を現在は針金で固定しています。怖いです。↑

あなたの人生における印象深い「けが」について教えてください。

さて、今回はこの機会に皆さんにこんな質問をしてみました。「痛みやつらさを経験してきた人は、その分人に優しくできるもの」といいます。皆さんの回答を紹介します。今回は特に人生経験豊富な9年生のコメントが印象に残りました。想像するだけで痛い…。 ※⇒は「失って初めて気づいたこと」

- 小4のときに校庭で鬼ごっこをしていたら木の根に引っかかって転んで左腕を折ったこと。⇒家族が私のことを本当に大切にしてくれていることです。家での生活が不自由な私に少しでも過ごしやすくなるようたくさん考えてくれたのを覚えているからです。【9年】
- 去年の9月にスネの怪我の筋挫傷になってしまい、今も怪我は続いています。それで、野球がずっとできていないので、怪我をしていないときはとてもいいことであり、怪我をしてしまうと、校長先生が言っていたように、すべてなくなってしまう。⇒健康でいきているということは、とても素敵なことと気づきました。【7年】
- よく喉を壊すのですが、笑うときに喉が痛くなるので笑うのが億劫になり、とても苦痛です。【9年】
- 右手首がドケルバン病になったとき手首の大切さがわかりました。
⇒手首が使えないと鍵を回したり、重いものを持つことが難しいと気づきました。【9年】
- 転んで舌を噛んで今でも左の方の舌が切れたままで治らなくなりました。⇒最初の方は熱いものや酸っぱいものを食べると染みて全然食べれなくなってしまうのでその時に普段食べているときに無意識だけれど使えないと不便になるとわかった。【9年】
- 右足の靭帯損傷したこと。⇒右足で歩くのが辛くなって、歩くことができたのも幸せだったと気付いた。【8年】



生徒の活躍

ITABASHI高島平ボランティアワークショップ

秋の事業参加者

高島平まつり ()

高島平福祉園「虹の祭典」 ()

高島平児童館ファミリーデー

() () () () ()

はすのみ児童館「絵本の町を探検しよう」

() () () () ()

() () () () ()

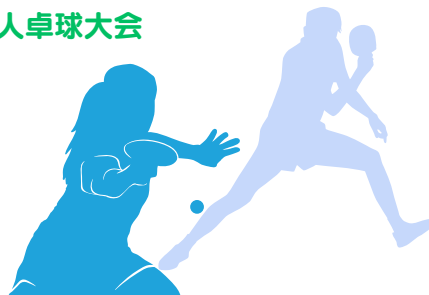
()



第62回板橋区中学校新人卓球大会

男子団体 優勝

女子団体 優勝



ボランティア参加生徒の感想から

「ジュースの準備やクレープの準備等いろいろなことに関わらせてすごく楽しかったです。またやりたいと思いました。」(8年) 「小さい子と触れ合うことができてとてもいい経験になりました。親子で楽しそうにしている姿を見てとても嬉しかったです。」(8年)

2月の行事予定

2日(月) 都立推薦発表日

9日(月) 全校朝礼(オンライン)

10日(火) 校外学習(8年)鎌倉方面

11日(水) 建国記念の日

13日(金) 公開日 新入生保護者会

16日(月) 生徒会朝礼(オンライン)

専門委員会

18日(水) 第5回ICS委員会

21日(土) 都立一般入試日

23日(月) 振替休日(天皇誕生日)

24~26日 学年末考査

27日(金) 7,8年生 ESAT-J

FEBRUARY

東京都公立中学校美術展覧会

14~19日 〈東京都美術館(上野)〉



西台中学だより
感想はこちら↑

よろしければ↑
ひとことお願いします



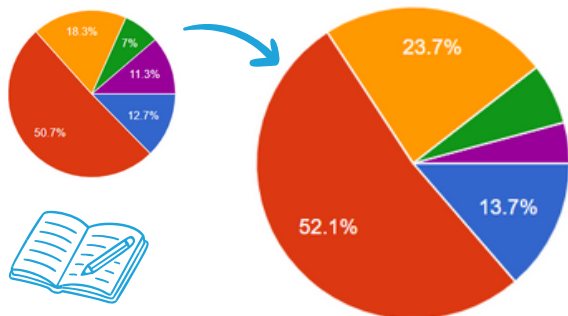
西台中学校HP
「学校日記」

こちらもぜひ↑
ご覧ください

令和7年度保護者アンケート集計結果

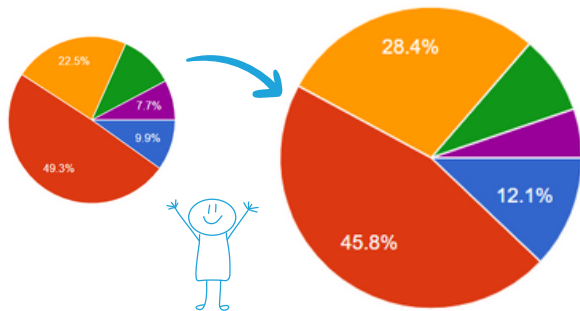
1. お子様は、興味・関心をもって学習に取り組んでいる。

★板橋区授業スタンダード（到達目標の提示→振り返り 等）に基づいた授業スタイルを全ての授業で実施しています。学習環境UDの推進により、誰にでも分かり易い授業を目指しています。



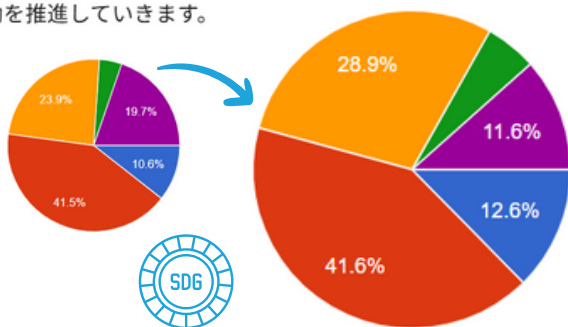
3. お子様には、基礎的・基本的な学力が身につけてきている。

★放課後自習教室「寺子屋ND」を週3日開室、テスト期間中等に各教科や学年で補充教室を実施するなど、生徒が基礎的・基本的な学力が身につけられるよう、フォロー体制を整えています。



5. お子様のSDGsへの意識が育っている。

★各教育活動において17のゴールを位置づけSDGs教育を深めて積み重ねた活動実績により、今年度ユネスコスクール認定されました。今後も環境教育等の活動を推進していきます。



ご協力いただき、ありがとうございます

有効回答数190件（回答率33%）。昨年度より10%アップとはいえ、全校生徒580名の本校への関心度と考えると寂しい数字です。今年度は回答数を増やす工夫として、QRコードを読み取ってのFormsによる回答や三者面談待機時間を活用して呼びかけ、更にすぐる、学校だよりからの周知等をしてまいりました。よりよい学校をつくっていくために次年度はせめて半数を上回るようにしたいと思っています。応援の声もいただくと学校が元気になります。

質問1～3 生徒授業アンケートによると授業の始めに示される「到達目標」からの見通しを持った学習の取組ができているのは82%、授業後の振り返りを文章で記録することができているのは78%であり、板橋区授業スタンダードの定着をほとんどの授業で実施できています。今後は授業内で自ら選択する場面を増やす“スタンダードS”を推進し、よりよい学習環境を提供できるようにします。家庭学習や生活習慣の向上について、ご家庭での支援をお願いいたします。

質問4 コロナ以降実施を見送っていた職場体験を今年度から再開しました。大規模校ゆえに事業所の確保が課題でしたが、地域の皆様のご協力のもと、貴重な体験活動の機会を得ることができたことを感謝いたします。次年度以降の事業所について、保護者のみなさまからもぜひ、ご紹介いただければ幸いです。ドリームマップ等、生徒の成果物は校内掲示物をぜひご覧ください。

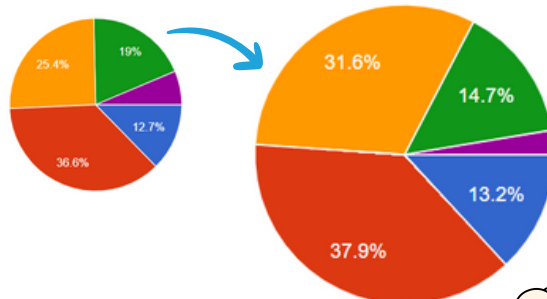
R6

R7

- (1) よくあてはまる
- (2) あてはまる
- (3) あまりあてはまらない
- (4) まったくあてはまらない
- (5) わからない

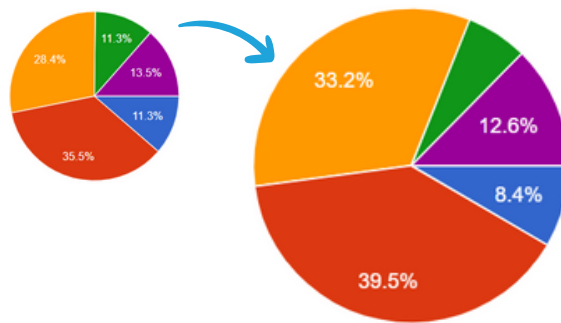
2. お子様は、自宅に進んで学習している。

★各授業の終盤で振り返りの視点をキーワードで示し、復習、予習のきっかけを与えています。デジタル教材「すららドリル」は5教科で個別に学習を進められるようになっています。



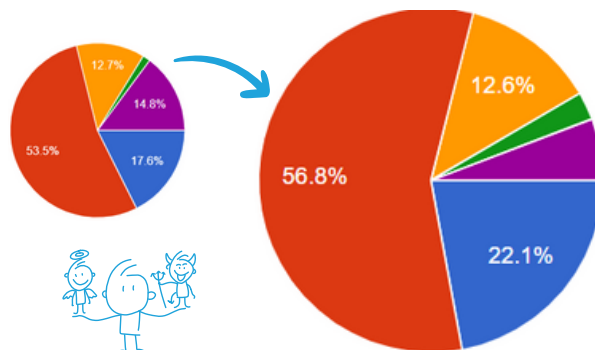
4. お子様は、キャリア教育を通して、将来について考える力がついてきている。

★西台中キャリア教育の流れは7年生ドリームマップ、職業体験等→8年生職場体験学習→9年生進路実現です。iCSや地域コーディネーターと連携し、地域人材の活用により、充実したキャリア教育を展開しています。



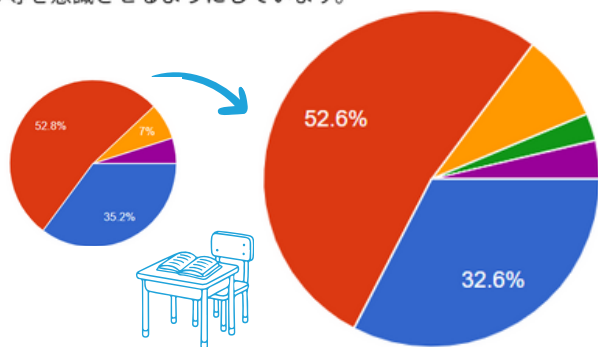
6. お子様は、道徳的な考え方や行動ができるようになってきている。

★道徳教育の要となる道徳の授業では授業者ローテーションを全学年で実施し、全教員で道徳教育を推進しています。様々な価値観、考え方に触れることにより、物事を多面的・多角的に考えられるようにします。



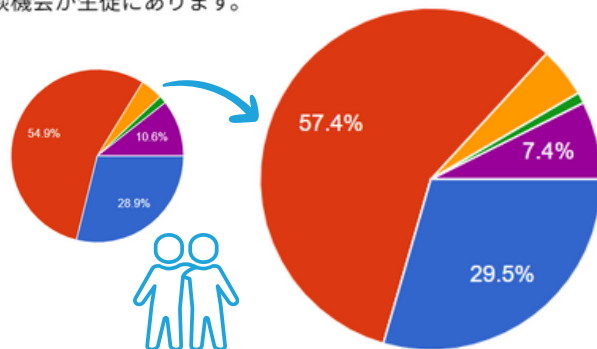
7. お子様は、落ち着いた学校生活を送っている。

★生活指導部会および特別支援校内委員会を定期的 to 実施し、生徒情報の共有・共通実践を実現し 発達支持的生徒指導（問題の未然予防）を推進しています。学級活動や生徒会活動におけるルールメイキングを通じて生徒に T P O等を意識させるようにしています。



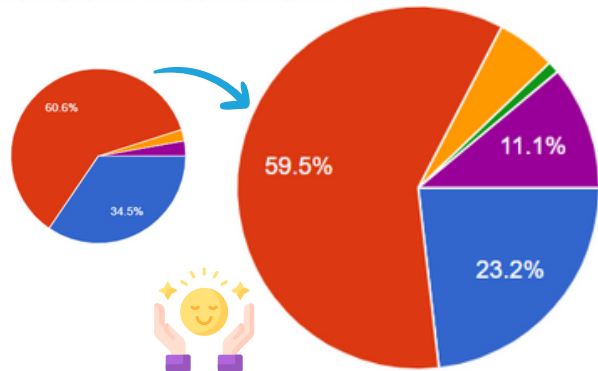
8. お子様の学校での人間関係は良好である。

★「生命の安全教育」東京都研究指定校として、相手の気持ちを考えた言動や適切な距離感等について考える授業を全学年で実施しています。夏休み明け二者面談、年6回のいじめアンケートの他、SC相談や毎月の校長講話Formsなど、様々な相談機会が生徒にあります。



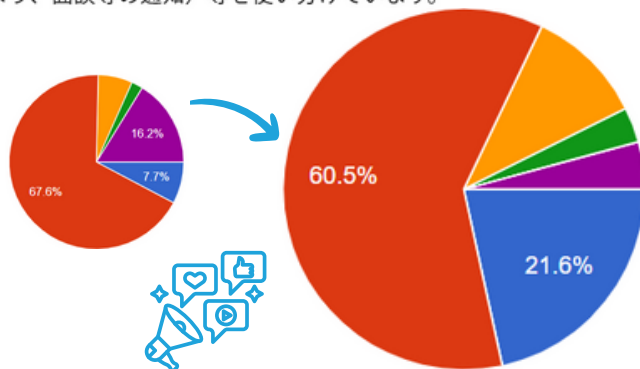
9. お子様には、学校に安心できる居場所があり、有意義に過ごしている。

★校内別室「はあとルーム」を毎日開室し、教室に入りづらい生徒の居場所があります。令和7年度から不登校対応巡回教員、民間委託週2日（学研）、学力向上専門員との連携が更に充実しています。



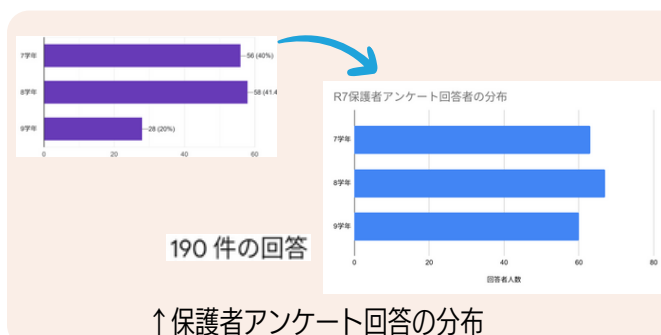
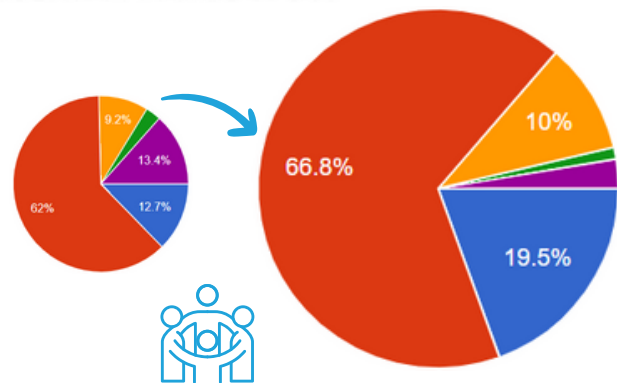
10. 学校の様子は、保護者会・面談・学校だより・ホームページ等でわかりやすく伝えられている。

★ホームページによる学校情報の発信（学校日記の更新）に力を入れ、ペーパーレス化を推進しています。内容に応じてメール配信（すぐーる）、紙媒体（学校だより、面談等の通知）等を使い分けています。



11. 学校と家庭との連携は図られている。

★年間2回の三者面談と保護者会。出欠連絡用Formsによる情報共有や学校だより、学年だより等で必要な情報を共有しています。欠席等の場合は適宜家庭連絡を入れて丁寧に対応しています。



質問5 ユネスコ認定校として環境教育で板橋区をリードできる存在になれるよう、引き続き力を入れて取り組んでいきます。9年生が面接練習の中で胸を張って環境問題等について答えている姿が印象的でした。

質問6～9 道徳教育を通した思いやりのある行動をとることができる、落ち着いた学校生活を送ることができる、人間関係が良好である、ことについて昨年同様肯定的回答が多かったことは何よりです。次年度は道徳教育を校内研究のテーマとして豊かな心の育成に重点を置き、みんなが安心して過ごすことのできる西台中を目指します。

質問10 肯定的回答は82.1%で昨年度より大幅にあがりました。特に「よくあてはまる」が7.7→21.6に増えたことは嬉しく思います。引き続き西台中学校の良いところをたくさん発信していきます。応援お願いいたします。

各項目「わからない」という回答が昨年度よりも減っていることも、よい成果だと思います。

質問11 昨年度より11.6%アップしました。報告・返信の丁寧さ、三者面談の柔軟な対応など“連携の質”を今後も維持していきます。